

令和3年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：根室地区
- 2 事例報告学校名：別海町立中西別小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 打川 真由美
- 4 キーワード：地域の教育資源を活用した地学協働の探究活動

1 はじめに

酪農王国別海町の中心に位置する本地域は、豊かな自然と文化と人に恵まれた教育資源の宝庫である。本校は全児童33名の小規模校で、開基・開校よりおよそ90年、地域と学校が共に歩んできた歴史があり、地域との太い結び付きと幼小中のつながりを強みとして生かしながら、地学協働で「地域とともにある学校」を推進している。幼小中の合言葉は「つなぐ」。CSで設定した目指す子ども像を旗印に、教育資源を効果的に活用し連続性・系統性を意識した教育課程を編成することで、探究力を育み、成長を実感する実践を重ねている。

2 実践の概要

(1) 「つなぐ」を合言葉にした教育ビジョンと教育課程の接続

「つなぐ」を合言葉に「学びをつなぐ」「授業をつなぐ」「成長をつなぐ」を経営の重点に位置付け、探究力を育み成長を実感する学校経営を推進している。特に「授業をつなぐ」では、「教育課程でつなぐ～教育資源を有効活用した教科等横断的な視点による教育課程の編成～」とし、全教職員でカリキュラム・マネジメントに取り組んでいる。また、幼小中12年間の成長をつなぐ一貫性のある教育課程でつなぐ、「中西別の教育」として地域の教育資源の活用の効果を見える化し、保護者・地域に開いている。

「中西別の教育」活動計画 つなぐ*												
発達段階	幼稚園 Start=始める			小学校 Challenge=挑戦する						中学校 Grit=やり抜く		
	すずらん	たんぽぽ	ひまわり	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
★共通	自ら考え、チャレンジする中西の子(幼小中共通)											
目指す子ども像	学力(学び・授業)			将来の夢に向かって主体的に学び、確かな学力を身に付けた子ども(幼小中共通)								
	体力(運動・健康)			生涯スポーツを楽しむ姿勢と基礎体力、心のたくましさを身に付けた子ども(幼小中共通)								
	生活力(人間関係・社会性)			思いやりや進んで働く態度を育て、見通しをもつて生活できる子ども(幼小中共通)								
教育目標	つよい子 あかるい子 たすけあう子			やる気・元気・根気・思いやりの心の育成						自信をもって物事に挑戦し、最後までやり抜く力をもった生徒の育成		
段階別実践課題	身近な自然の素晴らしさを感じる ・地域のよさを伝える ・体験を通して将来の夢や希望をもつ			地域のよさや自然のすばらしさに気づき、愛着をもつ ・地域のよさを積極的に気づく ・学びや発信を通して将来の夢や希望をもつ						郷土のよさや自然のすばらしさを探究し、愛でて環境に配慮する態度を育てる ・郷土のよさを積極的に気づき、感謝の気持ちをもち発信する ・学びや発信を通して将来の夢や希望をもつ		
	幼小期の終わりまでに身につけてほしい力の要 「健康な心身」「自立」「協同性」「読解力・読書力・基礎学力の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形・算数や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」			「言語能力」「問題発見・解決能力」「情報活用能力」						人間・社会関係形成→自己理解・管理能力→課題対応能力→キャリアプランニング能力		
地域の教育資源を活かした教育	家庭⇔小集団⇔学年⇔地域⇔			見つける	つなげる	比較	継承	条件	多面的	地域文化理解		
	身近な自然や動物を知る 身近な文化を知る 身近な環境の中で遊びを楽しむ 身近な人や場所を知る			・テーマを設定し地域(中西別)の自然や生き物を知る ・テーマを設定し地域の文化や歴史を知る ・地域(中西別)の人の関わりから学び、思いや考えを発信する。			・テーマを設定し地域(別海町)の環境と文化を探究し、これからの生活の有様や文化の創造について考える。 ・地域(別海町)の人の関わりから学び、思いや考えを発信する。			地域文化理解 □合唱 □子供の成長を見る会 □祖父父母参観日 □太鼓 □合同音楽祭 □ふるさと祭り □さつき祭り □夏祭り □地区文化祭 □地域学習		
	山菜取り 地域への散歩 小学交流(秋みりかせ) 中学校交流(中学校3年生来園)	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動	「山菜取り」活動 「地域への散歩」活動 「小学交流」活動 「中学校交流」活動 「秋みりかせ」活動 「秋祭り」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動 「秋収穫祭」活動
キャリア教育	体験活動(太鼓、茶道、日本舞踊、基礎工、そば打ち)			ふるさと祭り(組曲)、「子どもの成長を見る会」川に向けて			さつき祭り ふるさと祭り 夏祭り 子供の成長を見る会			自己実現 進路模索		
地域行事との関係	「つなぐ」活動			ふるさと祭り(組曲)、「子どもの成長を見る会」川に向けて			さつき祭り ふるさと祭り 夏祭り 子供の成長を見る会			自己実現 進路模索		

(2) 川を中心とした地学協働の探究活動

校舎の近くを流れる然内川は、児童の社会科、理科、生活科、総合的な学習の時間の学びの軸になるフィールドである。園児と1・2年生は、幼稚園にある森と小川を連結した遊びのフィールド「わくわくジャングル」と然内川を活用し、季節ごと共同で体験活動を

然内川での探究活動



行った。5・6年生は理科を中核に探究活動で教科の学習を深め、3・4年生は、魚などの生息状況や川の環境、微生物などについて観察、調査、研究を重ねた。川の水源となる摩周湖の伏流水について、川湯ミュージアムを訪ねて調べ、食物連鎖についても学んだ。河口を訪ねてこれまでの観察、調査と比較することで、新しい発見をすることもできた。さらに、この学習を地域の方が知り、ご自身の牧場内にある然内川と西別川の合流地点を探究活動の場として提供して下さった。



然内川と西別川の合流地点での探究活動
(網に入った遡上してきたサクラマスを川に返す)

また、本地域で調査研究をしている釧路博物館の学芸員には、リモート授業で児童の質問に答えていただくなど、探究活動のサポートをお願いした。

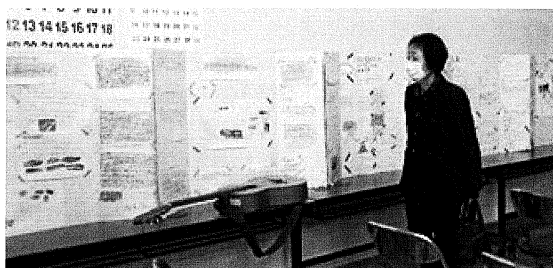
(3) 川を通して学んだこと、未来に向けたメッセージを地域に発信

児童は、「浅い場所と深い場所の魚の生活の違い」「微生物と魚の死骸の関係」「西別川にいる微生物と食物連鎖の必要性」など、それぞれ研究テーマを設定してまとめ、研究の成果を保護者、地域の方に発表した。

食物連鎖の必要性について発表した児童は、「食物連鎖は絶妙なバランスで崩れそうな状況であることが分かった。食物連鎖は世界にとって大事なことで、消えると世界は大変なことになる。私は西別川を守りたい。」と思いや考えを伝えた。児童は探究活動を通して深く学び豊かに成長した。



学習発表会で家族、地域に向け発表



地域文化祭でプレゼンボードを展示

学びの成果となったプレゼンボードは、地域文化祭の会場に展示し、多くの地域の方に見ていただいた。およそ200の方が足を運んでくださった。地域の方からの勧めで、別海町役場のホールにも展示をすることになった。

酪農の町である本町で、川、水、環境について考えることはとても大切なことで、地域の方とその思いや考えを共有できたことは、とても意味深

かったと感じている。川でつなぐ学びには、人や地域の今と未来をつなぐ力があつた。

3 おわりに

川を中心とした探究活動を通して、児童は自ら課題を見つけて仮説を立て、調査研究した結果から考察し、学び続けていく力を着実に高めてきた。そして地域の方の思いや願い、ふるさとを大切にしながら営みをつなげてきた歴史や共生する生き方にも出会うことができた。

ある地域の方は、「共に学び研究を協力する立場に関わることで、子どもの成長を実感し地域の素晴らしさを再発見することができた。」と言ってくれた。地学協働の探究活動は、当地域のスローガン「夢を育み元気な街、中西別」を実現する大きなエネルギーも生み出しているように感じた。